

中央大学杉並高等学校 学校通信



さんさん

杉燦

中央大学杉並高等学校

総務部発行

2023年度第1号(通算108号)

<https://chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川 2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

61期生 入学おめでとう!

2023年4月8日(土)、中央大学杉並高等学校第61回入学式が本校体育館にて行われました。新入生・来賓・保護者の方(各御家庭より2名)・教職員の参列となりました。今年は3年ぶりに吹奏楽の演奏が復活。荘厳な響きに包まれ、新入生が誇らしい表情で入場しました。さらに、在校生(音楽関連のクラブ有志)による校歌も対面で披露されました。345名の中杉生のデビューです。

入学式次第

- 開式の辞
- 校歌紹介
- 新入生呼名
- 学校長式辞
- 校長 高橋 宏明
- 祝辞 中央大学総合政策学部長 青木 英孝
- 新入生代表宣言
- 新入生代表 S・H
- 学年担当教員紹介
- 閉式の辞



入学式式辞

『自己肯定感』と『好きなこと』

中央大学杉並高等学校

校長 高橋 宏明

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては心よりお祝い申し上げます。また、本日は来賓の皆様にも多数ご列席いただきました。誠にありがとうございます。

新入生の皆さんは、中学校の三年間を新型コロナウイルス感染症の拡大によって、学修の機会を奪われ、学校生活で多くの犠牲を強いられたことと思います。そのような困難を乗り越え、本校に入学されました。新入生の皆さんに改めて、敬意と祝意を表します。

グローバル化が急激に進む中で、感染症の脅威、ウクライナ戦争の拡大に対する恐れ、日本社会の将来への不安など、現代世界の先行きは不透明感を増しているように見えます。だからこそ、皆さんたち若い世代は、そうした困難な状況に立ち向かい、頑張らなければならぬ、というような勇ましい話をするのではありません。私たちが皆さんにお伝えしたいのは、高校生活を送るうえで、意識してほしいこと、取り組んで欲しいこと、についてです。

一つ目は「自己肯定感」という言葉を意識し過剰に欲しいということ。自己肯定感とは「ありのままの自分を受け入れる、自分自身を肯定する感覚」のことです。他の人と比較することなく自分自身が「今の自分」を認め尊重することで生まれる感覚と言えるでしょう。例えば、何かに取り組んで上手くいったときは「自分を褒める(自分もなかなかやるねー)」、反対に上手くいかなかったときは「自分で自分を労う(まあ失敗したからといって全てが終わるわけではないし・・・)」といった具合に自分の行動の結果を客観視し、良くも悪くも「ありのままの自分」として受け入れる。

祝辞

大切なのは、自分自身を認め尊重する「気持ち」であり、そうした感情を積み重ねていくことです。

二つ目は、「好きなこと」を見つけ打ち込むことです。「好きなこと」とは、それに取り組むと楽しくて時間を忘れてしまうようなこと。一年、三年、五年と続けていけるような「好きなこと」を、高校時代に見つけて欲しいのです。寝食を忘れて熱中できる好きなことが見つかったら、それは大変素晴らしい。「好きなこと」は、「自分はどうのような生き方をしたいのか」、「どんな人生を送りたいのか」を考えることと密接に関わっています。「好きなこと」が将来の「仕事」に結び付くと、「楽しい生活」、「幸せな人生」の実現に繋がることでしょう。「好きなこと」を見つげるために「行動」・「挑戦」して欲しいと思います。

中央大学杉並高等学校の教職員一同は、新入生の皆さんが充実した高校生活を送れるようになるための努力を惜しみません。そのための学修カリキュラム、研修プログラム、その他の各種行事などが用意されています。是非、主体的且つ積極的に参加してください。

三年後の卒業式の時、皆さんに「中央大学杉並高等学校に入学し、学べて良かった」と言ってもらえるようになることが、我々教職員一同の最高の喜びです。そのようなことを願いながら、諸事に取り組んでいきたいと思えます。

最後に改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。



中央大学総合政策学部長

青木 英孝

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。中学三年間がコロナ禍に見舞われた中、それでも将来を見据えて努力を重ね、厳しい受験勉強を乗り越え、見事に栄光を勝ち取られた皆さんに心から敬意を表します。また、皆さんをこれまで支えてこられたご家族の皆様にも、心からお喜びを申し上げます。

皆さんにお伝えたいことが二つあります。一つ目は主体的に学び続けることの大切さです。皆さんの将来には大きな可能性があります。ただし、大きな可能性がある一方、ボーっと生きていると、何にもならない可能性も同じくらいある。この間、大学でも、コロナ禍を口実に勉学を疎かにした人は、就職活動でなかなか内定が取れず苦戦していました。

ただし、就職が決まった学生にも、学び続けないとダメよ、と話しています。今は小学生から英語を勉強する。高校生も情報が必要になった。近い将来確実に、語学も、統計も、プログラミングも、当たり前に行える後輩と一緒に働くことになる。出来ない社員はリストラされるよ、とハッパをかけています。

時代は必ず進化します。私が高校生時はパソコンもスマホもありませんでした。でも、IT化に適応できない人材は取り残されました。グローバル化も同じでしょう。今後を見据えて、どんな能力やスキルが求められるか、自分で考え、必要な学びを重ねていく主体性をもってください。中杉には、素晴らしい教育環境が整っています。ただし、学校に教育してもらおうのではなく、自らがどう学習するか、考えてください。恵まれた環境をどれだけ有効に活用できるかは、皆さんの学ぶ姿勢次第です。

二つ目は、基礎の大切さです。学問はスポーツや芸術と似ています。基礎の習得には地道な努力が必要です。皆さんも中学生時代、部活で単純な基礎練習を日々繰り返し返した人も多いと思います。でも、基礎を固めたからこそ、自由に応用する楽しさが待っていたはず。大学で学問を楽しむためにも、高校で

学んでおくべき基礎はしっかりと固めておいてください。特に、論理的に考える力は絶対に必要です。

ただ、関連してもう一つ大切なことがあります。

富士山はなぜ、高く、そして美しいのでしょうか？

——それは、裾野が広いから。

基礎を積み重ねて能力を高めることは大切なのですが、裾野の広さ、つまり視野を広げることもまた大切です。そのためには、様々なことに興味関心をもつことです。学びの初めの一歩は、なぜ？という素朴な疑問です。

最後に一つ、面白い小話を紹介します。戸田智弘氏の『もの見方が変わる 座右の寓話』から「子どもをしかる父親」というお話です。

「おいーそんなところでゴロゴロ寝てないで！勉強しなさい！」

「どうして、勉強しなきゃいけないの？」

「勉強しないといい学校に入れないだろ！」

「どうしていい学校に入らなきゃいけないの？」

「いい学校に入らなきゃ、いい会社に入れないだろ！」

「どうしていい会社に入らないといけないの？」

「いい会社に入らなきゃ、いい暮らしができないだろ！」

うー！

「いい暮らしって何さ？」

「…そうだな…寝て暮らせるってことだ！」

「ぼく、もう寝て暮らしているよ！」

皆さんは何のために勉強するのでしょうか？例えば、お金を稼ぐことは大切なことで、貯金が趣味という人もいます。ただ、お金を貯めることは目的でしょうか？そのお金を何に使うかの方がもっと大切なはず。目的と手段の理解は大切です。何のために学ぶのかも、ゆっくり考えてみてください。

人生に大きな影響を与えるのは、得てして先人の知恵が詰まった書物か、人との出会いだと思います。

色んな本を読んで、新しい友達との出会いを大切に、楽しく有意義な高校生活を送って下さい。本日は、本当におめでとうございます。



新入生宣誓

春の花々が美しく咲き、吹く風も心地よく感じられる中、私たち六十一期生は中央大学杉並高等学校の入学式を迎えることができました。本日はこのような素晴らしい式を開いていただき、新入生一同を代表し心より感謝申し上げます。

私が中杉と出会ったのは、中学校三年生の夏に参加した私学フェアという合同説明会でした。そこがかがった中杉独自の「探究」の取り組みや中央大学との高大連携に興味を持ち、一度、中杉をこの目で見てみたいと思うようになりました。その後、女子バレーボール部の体験入部に参加することにしました。先生熱心なご指導や先輩方がコート内でよく話し合いながらプレーしている姿に感動し、私はぜひ中杉に入りたく強く思うようになったのです。中学校の部活動を引退してから本格的に受験勉強を始めたため、出遅れていることを感じながら必死になって勉強しました。そのかいあって無事合格し、中杉の門をくぐる事ができたことを、いまとてもうれしく感じています。

これからの学校生活では勉強と部活の両立を目標とし、緑苑祭や体育祭などの行事では仲間たちと協力して、学校全体を盛り上げていきたいです。課外活動の面では法学論文ゼミやライティング・ラボといった高大連携のプログラムにも積極的に取り組んでみたいと思っています。未熟な私たちですが、先生方には厳しくも温かい目で見守っていただけましたら幸いです。

私たちは中央大学杉並高等学校の六十一期生として誇りと自覚を持ち、将来を見据えながら、自分で考え物事に取り組んでいくことを、新入生代表としてここに誓います。ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



二〇二三年 四月八日

中央大学杉並高等学校

第六十一期新入生代表

S・H

この4月で校長が大田先生から高橋先生になりました

【新校長】高橋宏明先生より

4月に校長に就任した高橋宏明です。中央大学文学部で東南アジア史や東洋史概説を教えています。

一昨年度まで、FLP(学部横断型プログラム)で国際協力演習を担当し、学生と共にカンボジアに赴き現地社会調査も行っていました。

私は内戦中のカンボジアで大学教員としてのキャリアを開始し、平和構築、アンコール遺跡保存修復活動などに関わってきました。その間、現地の人々との交流を通じて新たな「学び」を得ました。

皆さんも海外に目を向けてみませんか。ワクワクするような世界が広がっていますよ。



◆高橋先生のご著書◆『カンボジアの近代化～その成果と課題～』(共著)文真堂 2023年

『ユーラシアにおける移動・交流と社会・文化変容』(共著)中央大学出版会 2021年

『ブッタの聖地』(共著)サンガ 2020年 他

【御退任】大田美和先生より

こんにちは。「真面目に頑張る人が好き」なチュー王子のぬいぐるみと一緒に、2019年4月に校長に着任し、3月末日に退任しました。校長時代にいろいろな挑戦をして、小さな失敗もしました。

皆さんも自分の可能性を自分で小さくしないで、たくさんの挑戦と失敗を繰り返して下さい。高校時代に日々行ってきたことがその後の人生の基礎になるのではないのでしょうか。

私は、毎日考えたことを日記に書いたり、ムーミンシリーズを英訳で読んだり、BBC ラジオの朗読を聴いたり、鎌倉の寺社や東京の美術館に出かけたりしていました。皆さんがどんな大人になるのか楽しみにしています。それではまた中大でお会いしましょう。ごきげんよう。



教職員紹介

※（ ）内は担当科目です。

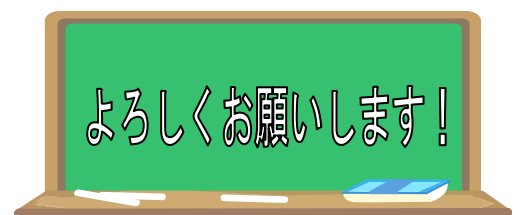
※6月中旬に配布される『学校要覧』もご覧ください。

校長 : 高橋 宏明
副校長 : 柄 浩司
教頭 : 山田 篤史(3年・歴史特論)

教務部主任 : 辰見 憲 (1年・数学A、2年・数学B)
総務部主任 : 池田 尚子 (1年・現代の国語、3年・論文)
生徒部主任 : 櫻井 公博 (1年&2年・男子体育)

	1年	2年	3年
学年主任	新井原博嗣 ※兼2・3・8組副担任 (2年・化学基礎、3年・化学)	後藤大祐 ※兼1・4組副担任 (2年・保健、2年&3年・男子体育)	及川ゆき ※兼2・6組副担任 (3年・コミュ英語Ⅲ)
1組	石川茂典 (1年&2年・女子体育)	影山彰 (2年・化学基礎、3年・化学演習)	山田恒平 (1年&3年・男子体育)
2組	富澤真紀 (1年・音楽Ⅰ、3年・音楽Ⅱ)	玉田香苗 (1年&2年・保健、2年&3年・女子体育)	小泉尚子 (1年・言語文化、3年・現代文、論文)
3組	鈴木章弘 (1年・言語文化、3年・論文、物語読解)	齋藤祐 (2年・文学国語〔現代文〕、3年・論文)	新嶋聡 (2年・公共)
4組	大山裕隆 (1年・英語コミュⅠ論理・表現1、3年・英会話)	榎本幸一 (1年・歴史総合)	重枝一弘 (2年・世界史探究基礎、3年・戦後世界)
5組	岡田輝子 (1年・数学Ⅰ、3年・教養数学)	前野桃子 (2年・英語コミュⅡ、論理・表現Ⅱ)	菊地明範 (2年・文学国語〔古文〕、3年・古典、論文)
6組	佐藤 功 (3年・倫理、現代社会論)	原空留未 (2年・言語文化〔古文〕、3年・論文、古典)	渡邊和樹 (3年・コミュ英語Ⅲ、英語演習)
7組	生田研一郎 (1年・情報Ⅰ)	垣塚菜生 (2年・英語コミュⅡ)	飯田裕子 (3年・英語表現Ⅱ、G英文法)
8組	土井ゆかり (1年・英語コミュⅠ)	町田明弘 (1年・生物基礎)	梅田 洋一 (3年・物理、物理実験＋演習)
9組	S	S	加藤将昭 (1年・数学Ⅰ、3年・数学Ⅲ、数学演習)
副担任	古平健太郎 ※1・5組副担任 (1年・英語コミュⅠ、論理・表現Ⅰ)	大塚圭 ※2・7組副担任 (2年・英語コミュⅡ、論理・表現Ⅱ)	小島崇 ※1・9組副担任 (2年・数学Ⅱ、3年・数学C)
	大館瑞城 ※3・6・7組副担任 (1年・現代の国語、2年・文学国語〔現代文〕、3年・論文)	武田一孝 ※3・8組副担任 (1年・数学A、2年・数学Ⅱ)	駒ヶ嶺泰暁 ※4・7組副担任 (3年・論文、現代文、書いて味わう古典)
	S	谷内田一郎 ※5・6組副担任 (2年・数学Ⅱ、3年・統計学入門)	山崎尊 ※3・5・8組副担任 (2年・物理基礎)

事務室 & 図書室 & 保健室	【事務室】 佐々木文昭・岸野俊一郎・和田信之・清水美紀・嘉納陽子・ 佐藤優樹・松下舞 〈育休中〉浅野ひかり
	【図書室】 肱黒きよ音
	【保健室】 岡村有希・仲野玲央



活動報告

1年生・オリエンテーション合宿

4月11～13日（前半クラス）、13日～15日（後半クラス）にかけて1年生対象のオリエンテーション合宿が行われました。場所は長野の菅平高原です。屋内外の様々なプログラムに取り組み、クラスメイトと協力してミッションをこなし、楽しく学び多い3日間となりました。

～3日間の主な内容～

【1日目】

◎中杉&中大を知る

…生徒心得・中大推薦基準・進級基準・中央大学について等の説明を聞く

◎ホームルーム

…自己紹介、委員決め etc.

【2日目】

◎小テスト実施

…国語、英語、数学

◎チャレンジワークショップ

…屋内外で様々な課題をクリアし、チームワークを發揮しました！

◎ホームルーム

…球技大会のメンバー決め etc.

【3日目】

◎学年研修

…SNS利用上の注意を聞く、「総合的な探究の時間」の体験



新任教員より

今年度より2名の先生方が中杉のスタッフとして加わりました。どうぞよろしくお願いたします！

1学年スタッフ 古平 健太郎（外国語科）

はじめまして、古平健太郎です。1年生の英語と、ESS、音楽部の顧問を担当します。

突然ですが、私は高校生の時に英語が得意ではありませんでした。高校最初の英語のテストでは、平均点(確か65点くらい)ギリギリ届かないくらいの実力でした。しかし、心の中ではなんとなく英語ができれば便利そうだし、楽しそうだなと思って諦めずこれまで英語に触れあってきました。英語が苦手な人も、嫌いな人も継続さえしていれば英語は必ず上達します。中杉の皆さんには少しでも、英語を勉強してみたいかもと思ってもらえるように、私も努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。

3学年スタッフ 小島 崇（数学科）

【君達は数学をなぜ学ぶのですか？】

——よくある解答で、「生活のほとんどが数学を使っているから」等が有名です。しかし君達は日常生活で数学を使いますか？「俺、関数を知らないからスマホ使えないよ」なんて言いませんよね。正直、全員が知らずとも一部の技術者が知っていれば世界は成り立ちます。ではなぜ時間割に数学があるのでしょうか。

私は数学で大事なものは知識や正しい値を求めることより、なぜを順序立てて説明する力を養うことだと考えます。極論「明後日テスト⇒明日部活で多忙⇒今日勉強する」このような考え方も数学ですし、これが学校で数学を学ぶ理由だと思ひます。

それを今年、「君」に問うていくのでよろしくお願いたします。

行事予定

※ 夏休み明けまでの日程です。日時、内容は変更になる場合があります。

5月8・9日(月・火)	球技大会(3年ぶりに全学年行事となります)	競技種目はバレーボール、バスケットボール、サッカーです。(雨天の場合は予備日[15・16日(月・火)]に順延します。)教員チームも参戦します!
5月6日(土)	3年生・ケンブリッジ英検	結果は「成績C」として算入されます。1・2年生はこの日、自宅学習となります。
5月20日(土)	第1回学級代表委員会	後援会代表役員を引き受けてくださいました方にお集まりいただきます。
5月22日(月)～5月31日(水)	後援会総会	今年度も書面開催と致します。ご協力よろしくお願い致します。
5月24日(水)	自宅学習日	教職員健診のため、生徒は登校禁止です。一斉テストに備えてください。
5月25・26日(木・金)	一斉テスト	26日午後は防災訓練を行います。 テスト科目は以下の通りです。 1年生 現代の国語&言語文化、数学Ⅰ、数学A、生物基礎、英語コミュⅠ(6科目・5時間) 2年生 文学国語(現代文&古典)、世界史探究、数学Ⅱ、数学B、化学基礎、物理基礎、英語コミュⅠ(7科目・7時間) 3年生(文) 現代文、古典、日本史B、戦後世界、コミュ英語Ⅲ、教養数学(6科目・6時間) 3年生(文理) 現代文、数学Ⅲ甲・乙、物理、化学、コミュ英語Ⅲ、戦後世界(6科目・7時間)
5月31日(水)、6月7日(水)	1年生・普通救命講習会	東京消防庁荻窪消防署のご協力のもと、1年生全員が受講します。
6月1日(木)、2日(金)	公開授業	両日2～4限(10:00～12:50)の間で授業を公開します。どうぞお越しください。
6月21日(水)	ようこそ卒業生(6限)	様々な大学・学部に進学した卒業生が来校し、大学生活について語ってくれます。
7月3・4・5・6・7日(月・火・水・木・金)	期末試験	原則として、1日2～3科目実施されます。テスト1週間前からクラブ活動禁止です。試験終了翌日から答案返却日までは自宅学習期間となります(クラブはあります)。
7月8日(土)	歌舞伎鑑賞教室(有志)	国立にて歌舞伎を鑑賞します(14時開演)。先着20名。奮って応募してください。
7月13日(木)	芸術鑑賞教室(全学年)	杉並公会堂で全生徒が落語を鑑賞します。現地集合現地解散。要出席日です。
7月15日(土)	学部選択相談会(経・商・総政・国営・文)	商学部・経済学部・総合政策学部・国際経営学部・文学部の説明会を多摩キャンパスにて行います。詳細はさくら連絡網にて発信致します。
7月18日(火)	答案返却日	期末テストの全ての答案が返却されます。返却後、よく復習をしておきましょう。
7月20日(木)	終業式、保護者会	終業式の後、HRで通知票を渡します。保護者会でも通知票コピーをお渡しします。
7月22日(土)～8月6日(日)	ユニティ研修(全学年有志)	コロナ禍以降、初のユニティ研修です。土曜講座の事前学習を受講している生徒が実地研修をしてきます。
7月31日(月)	学部選択セミナー(理工)	理工学部説明会を後楽園キャンパスにて行います。詳細はさくら連絡網にて。
8月1日(火)	学部選択セミナー(法、国情)	法学部(茗荷谷キャンパス)、国際情報学部(市ヶ谷田町キャンパス)の説明会を行います。詳細はさくら連絡網にて。
8月3日(木)～6日(日)	屋久島研修(全学年有志)	土曜講座の事前学習を受講している生徒が実地研修をしてきます。
8月24日(木)	国立能楽堂夏スペシャル(全学年有志)	国立能楽堂で狂言と落語を鑑賞します。先着10名。奮って応募してください。
9月1日(金)	始業式	9:40HR着席、10:00始業式開式です。

編集部より 初々しい61期生を迎え、2023年度が始まりました。今年度もよろしくお願い致します。(小泉・鈴木)